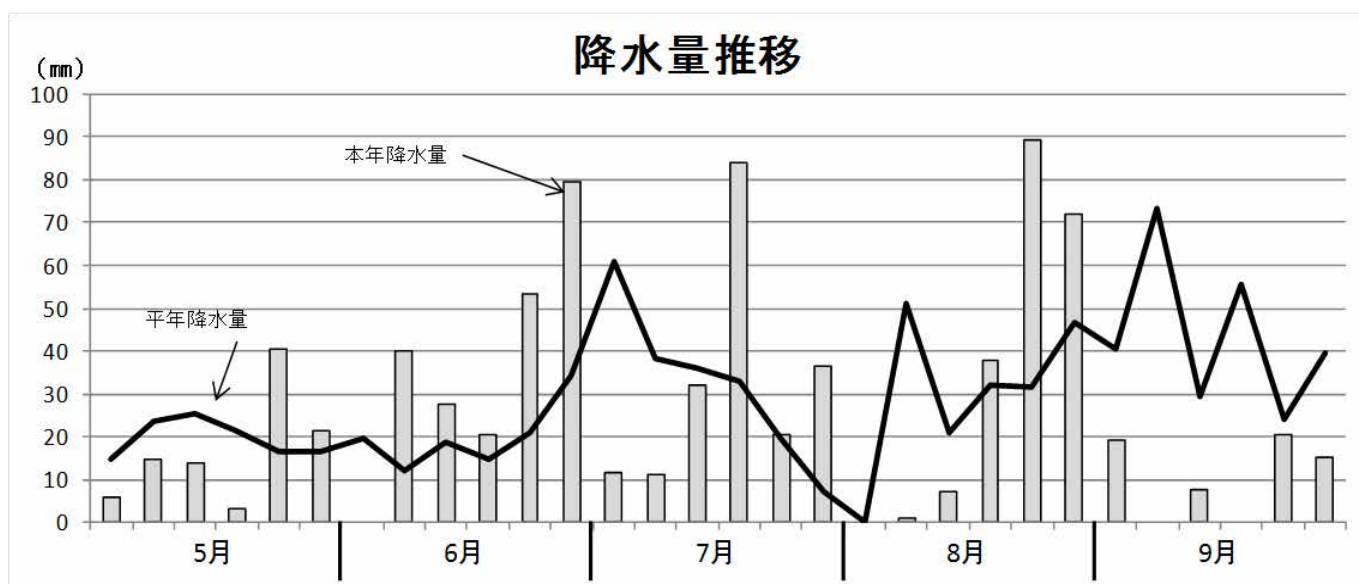
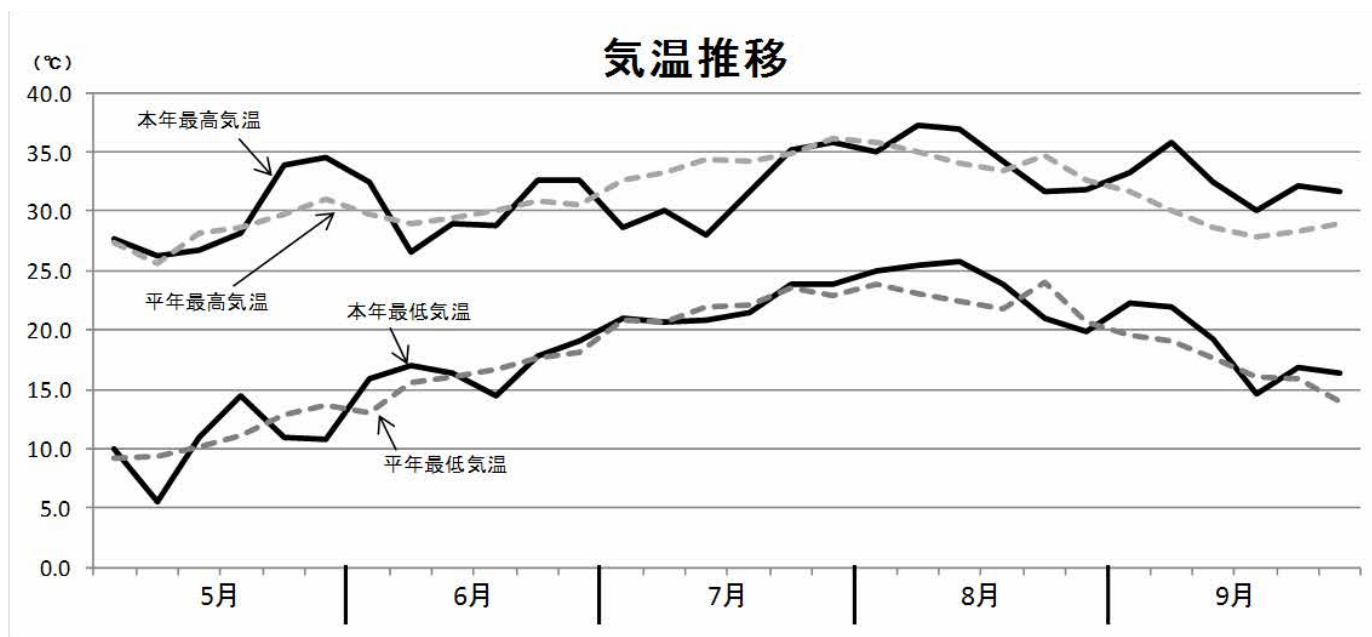


# 気象概況と生育概要

5月は中旬以降の気温が高くなったことから、水田ではワキや藻が発生し初期生育が抑制された圃場や、雑草が多く発生した圃場が見られました。6月の気温はほぼ平年並みで推移しましたが、梅雨前線の影響により7月は雨や曇りの日が多く、コシヒカリ・日本晴の圃場で葉いもちが発生しました。8月前半の気温は平年に比べかなり高く推移しました。8月後半は一転して気温が低く降水量が多くなり、コシヒカリでは倒伏した圃場も見られました。9月は全般的に好天に恵まれ、降水量は少なく気温は高めで日照時間も多くなりました。



# 2019年産米 品質概況

倉前検査データ参照：2019年10月12日現在

	【上位等級率 88.6%】	1等 88.6%	2等 10.4	3等 1.0
ハナエチゼン	<p>ハナエチゼンは暖冬で積雪が少なかった影響でカメムシが多発したため、斑点米が多くみられました。</p>			
		カメムシ 63.2%	胴割 12.8%	乳白 13.8%
コシヒカリ	<p>コシヒカリは8月～9月の夜温が高い影響で平均気温が高く推移したため背白、基部未熟が増加しました。</p>	1等 81.3	2等 16.1	3等 2.6
カメムシ 24.0%	青未熟 3.1%	胴割 4.8%	乳白 68.0%	その他 0.1%
日本晴	<p>日本晴は、暖冬により越冬成虫が多かったことと、活動期間の長い大型のクモヘリカメムシの密度が特に高く、斑点米被害が増加しました。</p>	1等 84.2	2等 14.5	3等 1.3
カメムシ 96.5%	乳白 3.5%			